



# 平成 2 6 年度 事業計画書

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)



学校法人 九州国際大学

(平成 26 年 3 月 27 日 理事会)

# — 目 次 —

|                         |    |
|-------------------------|----|
| <b>I. 基本方針</b>          | 1  |
| <b>II. 平成 26 年度予算概要</b> |    |
| 1. 収入の部                 | 3  |
| 2. 支出の部                 | 3  |
| <b>III. 事業計画・方針</b>     |    |
| <b>[学校法人]</b>           |    |
| 1. 人事関係                 | 4  |
| 2. 施設拡充関係               | 5  |
| 3. 財務関係                 | 6  |
| 4. 寄付関係                 | 6  |
| 5. 情報公開                 | 6  |
| <b>[九州国際大学]</b>         |    |
| 1. 教育概要                 | 7  |
| 2. 教育支援                 | 9  |
| 3. 学生支援                 | 10 |
| 4. 就職支援                 | 11 |
| 5. 研修事業                 | 12 |
| 6. 地域連携                 | 12 |
| 7. 国際交流                 | 14 |
| 8. 自己点検・評価              | 14 |
| <b>[九州国際大学付属高等学校]</b>   |    |
| 1. 教育概要                 | 15 |
| 2. 教育活動の特色（クラス編成）       | 16 |
| 3. 学習支援体制               | 16 |
| <b>[九州国際大学付属中学校]</b>    |    |
| 1. 教育概要                 | 17 |
| 2. 教育活動の特色（各種プログラム）     | 17 |
| 3. 教科目標                 | 18 |
| 4. 学習支援体制               | 18 |

## I. 基本方針

私立学校を取り巻く環境が大きく変化する中で、地域に立脚した学園としての役割を果たすことを念頭に、予測困難な時代を生き抜く若者を育成することが重要な使命であると認識しております。

本法人は、平成 20 年に策定した中期経営計画「平成 20 年～24 年（5 ヶ年）」の履行状況について事業の点検を行い、未達項目・課題を再精査して次期経営計画へと継承してまいります。平成 26 年度は、第二期中期経営計画「平成 26 年～30 年（5 ヶ年）」を策定し、財務的な裏づけによる経営資源の選択と集中を図りながら、教職員が一体となって改革に取り組んでまいります。

特に、学校教育の根幹である優れた教職員の人材育成に努めることはもとより、本格的な私立学校経営の実践とその進捗管理に取り組んでまいります。

### （大学・大学院）

九州国際大学は、建学の精神に掲げる開学以来の「塾的精神」により、社会に貢献できる人材の育成に力を注ぎ、社会人として通用する教養と基礎的専門能力を修得できるよう「理論と実践両面に明るい人材の育成」という理念を掲げ、学生一人ひとりに対する真摯な教育を実践してまいります。

社会の構造的変化に整合した教育の充実を図り、自ら学び続ける力を身に付けるために、入学前から、在学中、卒業後までを一貫してサポートできる体制を構築していきます。これまでの初年次教育やキャリア教育に加え、4 年後の就職を意識して「基礎学力をつける」ことに重点を置いた基幹教育を実践していきます。これらを総じて、社会人としての体幹（コア）を鍛える教育に邁進するとともに、地域社会から評価される大学として改革に取り組んでまいります。

### （中学校・高等学校）

付属中学校・付属高等学校は、2010 年度に高等学校の「共学化」という大きな改革を行ったことで、県下トップの志願者を獲得するなど北九州市域の注目を集めています。今後も、教職員・生徒の力を結集し、「独自性のある」「活力のある」学校づくりに一層取り組んでまいります。

また、北九州屈指の進学校として、質の高い教育を提供することはもとより「豊かな情操教育」「文武両道」「グローバル教育」を掲げ、幅広い人間教育を実践していきます。

さらに、これらを踏まえた学校評価への取り組みを開始し、地域ナンバーワンの私立学校を目指してまいります。

### （学校法人）

高等教育においては 18 歳人口の減少が進む一方、大学設置基準等の規制緩和により大学数が増加するなど、学校法人を取り巻く環境は厳しい状況にあります。学校法人の経営を継続的に発展させていく前提としてガバナンスの構築が不可欠となり、内部統制を強化し、適切なリスク対応（リスクマネジメント）を図っていきます。

本法人の財務状況は、消費収支において支出超過の状況が続いておりますが、平成 25 年度決算はキャッシュフローベースで運転資金の留保（前年対比）が可能となる見込みとなっております。平成 26 年度は、費用対効果を考慮した選択と集中により予算編成を行い、質の高い教育サービスの提供に向けた学校改革に努めてまいります。教育インフラの整備にかかる事項については、各キャンパスの課題・問題点を認識し、法令対応となる耐震診断や老朽施設の改修等を優先し、資金計画に基づく事業を執行していきます。これら、教育環境整備等の大規模事業については寄付金事業を立上げ、募金活動を本格稼働して

いきます。なお、公共性の高い法人として無駄のない予算執行への努力を怠ることなく、中学・高校・大学を設置する学園としてスケールメリットを活かしたコストダウン及び定型業務の集約型アウトソーシングなどについても研究してまいります。

## Ⅱ. 平成 26 年度予算概要

### ＜予算編成にあたって＞

消費収支計算書のうえでは依然として支出超過が続いています。学生確保による収入増に努めるとともに、支出の部で高い比率を示している人件費・奨学費等について、総額（総数）管理による制度運用を検討するなど、更なる改革が必要です。

平成 26 年度予算編成方針に基づき編成作業を実施した結果、枝光キャンパスの耐震補強工事をはじめとする大規模事業計画については、通常予算とは異なり、特定資産を財源とした別枠での事業計画としたため、運転資金への影響は少なく支払資金の留保が可能となる見込みです。引き続き、資金計画に基づいて事業を執行し、教育投資を増額できるよう努めてまいります。

### - 消費収支計算書 -

（単位：千円）

| 消費収入の部      |           | 消費支出の部       |           |
|-------------|-----------|--------------|-----------|
| 学生生徒等納付金    | 2,429,775 | 人件費          | 2,221,742 |
| （授業料）       | 1,681,735 | （教員人件費）      | 1,519,167 |
| （保護者負担軽減額）  | △ 31,091  | （職員人件費）      | 611,607   |
| （入学金）       | 99,130    | （役員報酬）       | 36,075    |
| （実験実習料）     | 2,180     | （退職金）        | 952       |
| （施設設備資金）    | 77,520    | （退職給与引当金繰入額） | 53,941    |
| （教育充実費）     | 600,301   | 教育研究経費       | 1,166,352 |
| 手数料         | 71,564    | （奨学費）        | 368,955   |
| 寄付金         | 30,000    | （減価償却額）      | 310,074   |
| 補助金         | 848,172   | （その他の経費）     | 487,323   |
| （国庫補助金）     | 230,185   | 管理経費         | 369,939   |
| （地方公共団体補助金） | 617,527   | （減価償却額）      | 60,039    |
| （その他の補助金）   | 460       | （その他の経費）     | 309,900   |
| 資産運用収入      | 67,250    | 借入金等利息       | 10,227    |
| 事業収入        | 76,991    |              |           |
| （補助活動収入）    | 73,677    |              |           |
| （受託事業収入）    | 3,314     |              |           |
| 雑収入         | 58,629    |              |           |
| 帰属収入合計      | 3,582,381 | 〔予備費〕        | 30,000    |
| 基本金組入額合計    | △ 364,300 | 消費支出の部合計     | 3,798,260 |
| 消費収入の部合計    | 3,218,081 | 当年度消費支出超過額   | 580,179   |

※（ ）内は、主な科目を内数として表示

## 1. 収入の部

### (1) 学生生徒納付金

中学・高校・大学ともに卒業生実績及び入学試験動向を鑑み、学生数予測に基づき収入を見込みました。前年度と比較して微減となっています。各部門において、入学定員確保を重要課題として募集活動に取り組みます。加えて、退学防止のための教育支援を強化し、収入減少の抑制に努めます。

### (2) 補助金収入

大学部門における私立大学等経常費補助金については、平成 25 年度より「私立大学改革総合支援事業」が新たな事業として追加され、大学改革の取組みに対する進捗と連動した補助金配分がなされています。これら動向に注視しながら大学改革を推進すると同時に、これに見合う補助金獲得を見込んでおります。高校・中学部門における福岡県私立学校経常費補助金は、在学者数が高い数値で推移しており、経年数値をもとに積算しています。平成 26 度の補助金収入は、各部門の状況及び過去の受給傾向等を考慮して収入計上しています。

### (3) 資産運用収入

平成 25 年度は、退職給与引当特定資産の大部分を定期預金により運用してきました。減価償却引当特定資産においても安全性を考慮して普通預金・定期預金・地方債等により運用しています。これら、特定目的資産の運用については、平成 26 年度も引き続き、銀行預金中心の運用を行い、安全性・流動性を重視します。また、施設設備利用料については、学園の PR を兼ねて広く周知し、利用促進を図り、増収に努めていきます。

### (4) 事業収入

受託研究事業は、自治体・企業・研究機関との連携により、国策・地域政策と合致した実践的研究に参画することで学園の存在意義・評価を高めていきます。また、科研費等の外部資金（学外研究）を獲得し、これらを活用した研究スタイルを推進し、研究費調達の多様化を促進します。

寮運営事業について、大学学生寮（紅梅寮）は留学生やサークル学生に限らず、多様な学生を受入れることで稼働率を上げていきます。高等学校生徒寮（橘寮・華橘寮）は、サークル生を中心としてニーズが高く定員に近い入寮生を確保しています。大幅な支出超過とならないよう経費削減に努め、寮生の教育面・生活面をサポートしていきます。

## 2. 支出の部

### (1) 人件費

「現行賞与支給率の維持」「非常勤講師手当経費などの削減」に努め、数値目標内で予算措置を図りました。引き続き、「早期退職制度実施」「諸手当見直し」「賞与支給水準見直し」などの検討を行い、人件費の抑制に努めていきます。

### (2) 経費

平成 25 年度当初予算と比較して経常経費の予算は大幅に減少しました。主な理由は、単年度事業として計上していた高等学校の老朽校舎解体費事業及び付帯修繕工事が完了したことにより、平成 26 年度からは算定除外とされたことにあります。ただし、大学の学生生活活動支援や募集施策で投じた奨学金費が

増加しており、依然として注視が必要です。今後は、教育事業への投資費用を捻出するために、事務運営の効率化を図り、管理経費・設維持管理費（光熱水費）を中心とした削減に努めます。なお、これら支出構造については、引き続き効果検証していきます。

### (3) 施設設備等（大規模事業）

平成 26 年度は、枝光キャンパス附属高等学校耐震補強工事（第 1 期）が大規模事業の大きな柱となります。「建築物の耐震改修の促進に関する法律」による耐震診断結果に基づき補強工事が必要とされた以下物件について施工します。当該年度は、法令対応を優先とした大規模事業を実施するための特別予算を編成しており、これら計画の実行については、事業の裏づけとなる資金計画に基づき、厳正に事業執行にあたります。

| 部門                 | 対象    | 付帯工事        |
|--------------------|-------|-------------|
| 枝光キャンパス<br>(中学・高校) | 第一体育館 | 3 号館        |
|                    |       | 天井落下防止工事    |
|                    |       | アリーナ照明改修工事  |
|                    |       | キュービクル移設    |
|                    | 共用棟   | 耐震補強工事      |
|                    |       | 省エネ型トイレ改修工事 |
|                    | 3 号館  | 耐震補強工事      |

## Ⅲ. 事業計画・方針

### [学校法人]

#### 1. 人事関係

##### (1) 人事考課制度

教職員の資質を向上させるとともに、教育機関として最も重要な教育力の向上及び組織の活性化を図る目的として人事考課を実施しています。職種別（大学教育職員、中・高教育職員、事務職員）に作成された実施要綱に基づいて、目標管理シート及び業績報告書による達成度評価を実施しています。

##### (2) 早期退職優遇制度

職員の生活設計の多様化に対応するため、「学校法人九州国際大学早期退職制度に関する規程」に基づき早期退職制度を実施します。一定の条件を満たす高年齢職員が早期退職制度の優遇措置を受ける場合、退職手当支給時に基準に応じて退職金支給割合の特別加算適用を受けることができます。

##### (3) 法令対応プロジェクト

労働三法（労働者派遣法・労働契約法・高年齢者雇用安定法）への対応を契機として、今後の人事制度のあり方や活力ある組織づくりに向けた課題を検討する目的でプロジェクトを設置いたしました。教学部門と経営部門の効率化、中学・高校・大学・法人を一体とした組織のスリム化等を念頭において中長期的な学園改革の礎としていきます。

## 2. 施設拡充関係

### (1) 機器・備品整備関係

| 部門                | 設置場所       | 件 名         |
|-------------------|------------|-------------|
| 平野キャンパス<br>(大学)   | 1 号館 3 階   | ブラスバンド部楽器一式 |
|                   | 2 号館       | 教室内 AV 機器更新 |
|                   | 多目的グラウンド   | 大時計設置       |
|                   | メディアセンター3階 | 椅子・机(可動式)   |
|                   | 多目的グラウンド他  | AED 一式      |
| 枝光キャンパス<br>(高等学校) | 高校保健室      | 聴力計         |
|                   | 職員室        | 印刷機         |
|                   | 高校棟        | AED 一式      |
|                   | 第一グラウンド    | サッカーゴールネット  |
|                   | 第一体育館      | DVD プロジェクター |
|                   | 職員室        | 一眼レフデジタルカメラ |
|                   | エントランス     | 応接セット       |
| 枝光キャンパス<br>(中学校)  | 中学保健室      | 聴力計         |
|                   | 誠心館跡地      | バスケットゴール    |
|                   | 音楽室        | ホワイトボード     |

### (2) 施設設備・修繕工事関係

| 部門                 | 設置場所         | 件 名            |
|--------------------|--------------|----------------|
| 平野キャンパス<br>(大学)    | 平野記念館        | アリーナ手すり塗装工事    |
|                    | 2 号館         | 光電アナログ式感知器取替工事 |
|                    | 3 号館         | 光電アナログ式感知器取替工事 |
|                    | 2 号館         | 屋上熱源オーバーホール工事  |
|                    | KIUホール       | 消防設備不具合箇所修理工事  |
|                    | 1号館          | 消防設備不具合箇所修理工事  |
|                    | メディアセンター     | 消防設備不具合箇所修理工事  |
| 枝光キャンパス<br>(中学・高校) | 第一体育館        | 耐震補強工事         |
|                    | 3 号館         | 耐震補強工事         |
|                    | A 棟・B棟・C棟・D棟 | 屋上熱源オーバーホール工事  |
|                    | 第一グラウンド      | テニスコート整備工事     |
|                    | 第一体育館        | LED 照明更新工事     |
|                    | 共用棟          | 耐震補強工事         |
|                    | 共用棟          | トイレ改修工事        |
|                    | B棟           | エレベーター部品交換工事   |
| 若松グラウンド            | 野球場          | グラウンド周辺側溝修理工事  |

### (3) 情報・通信機器整備

#### ● 研究室のパソコンOS更新

セキュリティの確保と本学教員の教育・研究活動等の更なる向上を図るため、教育情報ネットワークセンター中期計画に基づき、研究室の既存パソコンへの Windows7 導入（アップグレード）及びメモリー増設を行う予定です。購入するライセンスは Windows7（Windows8 のダウングレード導入）であり、将来的なアップグレードの要求にも十分対応可能なものです。

これらの取組みは、WindowsXP の延長サポート期間切れへの対応とあわせて、現時点において教室の教卓PCと研究室のPCのOSとが異なり互換性が保たれていないので、これを一気に解消し、環境の統一化が図られることになります。

#### ● 複合機等出力機器の更新

印刷機器の最適配置計画（印刷能力・使用頻度に基づく配置計画）に着手するとともに、出力機器のメーカー・機種統一化を図ることによるランニングコストの削減に対応してまいります。あわせて、職員証（ICカード）を活用した印刷物による情報漏えい防止策と印刷物の監視・管理の対応を講じてまいります。

### 3. 財務関係

適正な予算執行を促すため予算説明会等を開催し、事業着手前の予算措置や規程を遵守した経理手続きに関して周知していきます。一般経費の予算編成に関しては、事業計画の効果予測を検証し、根拠に基づく予算積算を行います。建物・構築物・修繕工事・備品等の固定資産取得に関しては、優先度を勘案しつつ、中期的な事業計画を立案して予算化していきます。資産運用については、引き続き定期預金等の安全性の高い運用に努めていきます。また、日本私立学校振興・共済事業団及び市中銀行からの借入金は約定日までに順次返済していきます。総じて、学園の財政安定化に必要な検討課題に対して、財務的な視点を切り口とした提言等を実施してまいります。

### 4. 寄付関係

大学部門では、平成 25 年度に平野キャンパスに多目的グラウンドを整備し、黒崎駅前にサテライト・キャンパス（地域連携センター）を開設するなど、教育環境整備を進めております。また、中学・高校部門では、枝光キャンパスの老朽校舎解体及び耐震補強工事が順次進められております。

地域に立脚し、社会に貢献できる人材育成を使命とする教育機関として、学生・生徒への「安全で充実した教育環境」と「質の高い教育」を提供するためには、より一層の財政基盤の確保が必要であり、平成 25 年 10 月より「教育研究用施設整備拡充及び環境整備」を用途とした寄付金事業を開始しました。平成 26 年度は、これら募金活動を本格的に稼働させていきます。

### 5. 情報公開

私立学校法第 47 条に基づいて条項に則した事業報告書を作成し、情報公開を促進します。また、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令に基づき、教育研究活動等の状況をホームページで積極的に公表していきます。さらに、「学園情報誌キュウトビ」や「大学要覧」を発刊し、本学園の取組みや財務情報、学生活動を紹介するなど広く情報提供していきます。



## [九州国際大学]

### 1. 教育概要

#### (1) 法学部 / 法律学科

法学部では、警察官や行政職員として地域の発展や安全・安心な社会づくりに貢献したいという学生を受け入れる「リスクマネジメントコース」「資格取得・不動産管理コース」を設置しています。これらのコースは、法学部の学生の多くが目指す公務員や資格取得を、より確実なものにしようと生まれたものです。

本学部には、少人数のゼミや課外活動、地域と一緒に課題を解決していく連携活動など、ユニークな教育プログラムがあります。こうした学内外でのさまざまな体験を通して得る知識やコミュニケーション力を育み、業種を限らず、社会へ活躍できる人材として育てていきます。

#### ● リスクマネジメントコース —警察官・公務員を目指す—

警察官、消防士、行政職員に必要な危機管理の考え方と手法を学びます。行政・企業等におけるリスクが増大するなか、将来性の高い分野です。

#### ● 資格取得コース —就職に有利な資格を取る—

宅建や司法書士などの国家資格取得や、法律のスペシャリストをめざす人のロースクール等への進学をバックアップします。

#### (2) 経済学部 / 経済学科・経営学科

多様化する現代社会で「問題発見能力」と「問題解決能力」を発揮できる人材の育成、それが経済学部の教育目標です。そのため国内外のさまざまな経済活動を理解できることや、今の国際化や情報化した社会に沿った幅広い教養と専門的知識、さらに高いコミュニケーション能力を養えるようにカリキュラムを工夫しています。

経済学科は、将来、企業や地域社会で活躍したい人のための学科です。経済の理論と知識を修得し、世界と地域の経済を見つめる確かな目と、深い教養、豊かな人間性を身につけた人材を育成します。また、経営管理やマーケティングを学んで、実践的なマネジメント能力や情報・会計のビジネススキルを修得したい人のために、経営学科を設けています。

#### ● 地域づくりコース — 地元企業・地方公務員を目指す —

より良い社会づくりに貢献できる人材を育成する。それを地元に特化したのが「地域づくりコース」です。知識の習得だけではなく、実践力を育てることを重視した体験型学習を行います。農村の現状を知るための田植え・稲刈り体験や、地元企業へのインターンシップ、さらには地域再生の歴史や事例、手法を学び、実際にイベントや店舗運営などを通して、地域社会の問題を解決できる力を養います。

#### ● ビジネスアカウンティングコース — 税理士・会計士を目指す —

専門的な会計の知識を持ったビジネスパーソンを育てるコースです。15名限定の特別クラスで、4年間会計学担当の教員が徹底指導します。まず目指すのは、日商簿記検定2級の全員合格。さらに1級合格者、税理士や公認会計士を目指しての大学院進学というように、エクステンションセンターと連携し、知識を蓄積します。原価計算や財務管理など専門科目によって応用力を養い、4年次生では卒業論文に

取組めます。こうした一連の学びから、分析結果を明解な文章で表現できる、大卒ならではのプロを育てていきます。

#### ● **ビジネスリーダーコース** — 実務体験で生きた経営を学ぶ —

企業経営に必要な知識とスキルを身につけることを目的としているのが「ビジネスリーダーコース」です。家業を継ぐ人や将来、起業を考えている人はもちろん、各部署のリーダーや経営幹部といった企業の中核を担う人材を育成するための、本格的なプログラムを用意しています。地元企業でのインターンシップや、北九州の企業経営者によるリレー講義など、体験を通じて生きた経営学を学びます。さらに、3年次生では、ビジネスゲームやケーススタディの分析・ディスカッションで、発想力や問題解決力を培っていきます。

### (3) 国際関係学部 / 国際関係学科

近年では、国境を越えた経済・社会のつながりや日本と諸外国との共生が重要な時代となっています。グローバル化が進む世界の中では、他国の文化や社会を理解し、真の国際感覚を養うことが大切です。国際関係学部はそんな時代と社会の要請に応え、国際教養とグローバルなコミュニケーション能力を備え、真に世界で活躍できる人材の育成を目指します。語学力を磨くのはもちろん、相手の国の文化や社会・経済の仕組みを理解するために、豊富な外国人教員の授業や多彩な海外実習制度など、これまでの学際的教育と外国教育を更に深めていきます。

#### ● **英語コース** — 使える英語を身につけるための学習支援 —

国際関係学部の柱のひとつである国際言語運用能力、その中でも「英語」は「世界共通言語」として最も重要な言語です。英語コースは徹底した英語教育を行います。

到達度別クラス編成で、自分の英語力に適したクラスからスタートし、レベルに応じて段階的に学習していきます。

#### ● **ハングルコース** — 韓国語と「韓国」を学ぶ —

ヒトやモノ、情報の流れが広がり続ける日韓両国では、ハングル語を駆使できる人材が求められています。ハングルコースは、楽しさと実践的な講義で、需要が高まる韓国語のスペシャリストを育成します。

#### ● **観光ビジネスコース** — 実践的アプローチの学習 —

旅行、ホテル、鉄道などの観光ビジネスを中心とするホスピタリティ産業への就職を目指します。ホスピタリティ産業とは、旅行やホテルのみならず、旅客を扱う鉄道やバス、航空、テーマ・パークなども含まれます。このような分野において求められる能力を培うことができるように、実践的・実務的なアプローチを重視するとともに、関連する資格・検定対策に必要な知識を提供できるようにカリキュラムや支援制度を準備しています。

#### ● **国際協力コース** — 協働する技術を学ぶ —

NGOやNPO、青年海外協力隊や国際関連機関などで将来的に活躍できる人材を育成します。

国際関係学部が力を入れるホスピタリティに根ざしたコミュニケーション能力は、まさに国際協力の

取組みに必要とされるものです。語学はもちろん、グループワークなどの参加・体験型学習を通じて対話を積み重ね、国内外での実践的な「実習」を数多く経験し、教員と学生が二人三脚で取り組んでいきます。

#### **(4) 大学院 / 法学研究科・企業政策研究科**

大学院修士課程は、高度専門職業人の養成を目的としての知識と専門性を高めていきます。

法学研究科では、企業や行政の現場で発生する、さまざまな問題を解決するための法知識の習得を目指します。

企業政策研究科では、経営実務に関する高度な知識、企業を取り巻く外部環境にかかわる専門知識をもつ人材の育成を目指します。

## **2. 教育支援**

### **(1) 入学前教育プログラム**

教育の質的保証を確保するメニューの一つとして、入学予定者全員に対して「基礎学力」を補う目的で入学前教育プログラムを実施します。業者が作成している「一般常識・基礎学力テスト」、「問題集」を活用して大学側と業者が連携し、学習の支援をしていきます。本プログラムを学習することで入学までの期間に学習のモチベーションを高め、「一般常識・基礎学力テスト」の結果を1年次ゼミで配付することにより、必要に応じたフォローアップを行っていきます。また、3年次に実施する「就職試験対策テスト」にも繋げていくことで、アセスメントテストとしての役割を果たしていきます。

### **(2) 初年次教育**

入学者の目的意識の低下、学力や職業意識の低下により退学者が増加しています。学生の主体的な学びを促進し、学士力を備えた学生を社会に送り出すために学生一人ひとりを一から育てる教育に取り組んでいます。授業科目の共通教育科目に基礎・情報科目を設置し、必修科目として入門セミナーⅠ・Ⅱを配置することで、大学で学ぶために必要となる読解力や論理的思考力等の基礎的な学修スキルや能力、将来に向けた目標を設定し、社会人として必要な素養（社会人基礎力）を身につけていきます。このような授業は、大学における人間関係や居場所構築のためのベースとしての役割をも果たしています。

また、これら取組みの一環として、新入生宿泊研修（FM：フレッシュャーズ・ミーティング）、体験型学習（フィールドワーク）、学生に応じた目的達成支援（PASS：Project of Achievement Support for Students）を組合せながら初年次教育の充実を図っていきます。

### **(3) 基礎学力向上プログラム**

本プログラムは、1年次より開講しており、公務員試験・教員採用試験・民間の就職筆記試験に必要な知識・学力の基礎（国語・数学）を養い、2年次の秋学期から始まるエクステンションセンターのメニューにおいて公務員受験対策講座の受講を促し、公務員合格者の底上げを目指していきます。受講前に実施される学力診断テストの結果に基づき学力別クラスを編成し、レベルに応じた講義を学期毎に段階を経て実施していきます。

### **(4) 実習科目の推進**

海外での体験的な学習機会を設けるために海外提携校での語学実習・外国事情研修・ボランティア活

動等の海外実習科目を開講します。また、国内でのボランティア活動や企業実習等を行う国内実習科目を開講します。

#### **(5) スタディスペースを活用した教育支援**

学生が講義の空き時間に訪れ、「オフィスアワー」で待機している教員から講義でわからないところを納得のいくまで教える学習支援に取り組んでいます。学生の動向や相談内容が多様化する中で、従来の研究室での対応から脱却し、学生が気軽に立寄り、多種多様な相談が可能な空間として、学生生活をサポートするインフォメーション的な役割をSA（スチューデントアシスタント）、教員、職員が協同で支えていきます。教員への相談だけに留まらず、グループ学習や自主的なミーティングにも利用を広げていきます。

#### **(6) 基礎教育センターを活用した教育支援**

高校で学んだ学習内容の復習や大学での基礎科目の復習など、学生一人ひとりに合わせた個別指導を行い、基礎学力アップのためのサポートを行っていきます。

入学後、学生が希望の進路へと進んでいくことができるように学習支援を実施していきます。

### **3. 学生支援**

#### **(1) 保護者連絡会の実施**

学生の講義への出席状況や学生生活の実態を把握し、成績不振等を解消するために相談会を実施します。大学側と学生・保護者を交えて面談する形式をとっており、学業やサークル活動における悩みはもちろん、就職・進路、人間関係など大学生活全般にわたり質問や相談に応じています。

#### **(2) フリースペースの活用**

学生が講義やサークル活動の合間にくつろげる場所として、平成24年4月に「フリースペース」を設置しました。友人とのコミュニケーションを図る場所、待ち合わせの場所として、有効活用できるよう、引き続き利用促進していきます。

#### **(3) 屋外ステージの設置**

保護者後援会の支援により設置した「屋外ステージ」を、体育系サークルや文化系サークルの活動発表や大学祭のメインステージとして積極的に活用できるよう利用促進していきます。

#### **(4) 学生ステーションの設置**

学生活動を支援する目的として設置した「学生ステーション」を、学生の利用要望に応じて多目的に利用できるよう利用促進していきます。

#### **(5) KIU フィールドの活用**

平成25年7月に整備した「多目的グラウンド（KIU フィールド）」を活用して、正課授業・課外活動を実施しています。このほか、学生の主体的な活用を促す観点から、ゼミ活動やイベント等で積極的に利用できるよう支援していきます。

#### **(6) 女子学生への支援**

女子学生に配慮したキャンパス整備を推進しながら、女子教職員とともに「女子学生の会」を組織します。女子学生が主体的に活動し、女子学生の交流が活発化することにより、大学の魅力の一つとして広報活動に繋げていきます。

#### **(7) 学生の健康増進**

保護者後援会の支援により、学生にきちんと朝食をとる習慣を身につけさせ、健康管理や生活習慣を見直していく契機とするため「100 円朝食」の提供を試験的に実施します。学生に健康管理や正しい生活習慣を身につけてもらおうと同時に授業の出席率向上にも繋げていきます。

#### **(8) 課外活動の活性化**

サークルの活性化並びに加入率の向上を目指すため、新学期の初めに学生自治会と連携を図り、体育系サークルや文化系サークルへの入部を促進していきます。

#### **(9) 学生ニーズの組織的聴取**

学生満足度を向上させることを目的として、学生自治会主催の連絡協議会を開催し、四協学生（学生自治会、体育会、文化会、大学祭実行委員会）代表との意見交換を通じて学生のニーズを聴取します。

また、学生満足度アンケートを実施し、学生のニーズの把握にも努め、学生指導に繋げることで、学生満足度の向上を目指します。

### **4. 就職支援**

#### **(1) キャリア形成支援プログラム「KIU-SPICE」**

KIU-SPICE（Kyushu International University Support Program In Career Education の略称）は、本学の教育理念である「理論と実践両面に明るい人材養成」を具体化する形で、入学年次からの 4 年間を通じ、社会人基礎力、人間力、就職力を身に付けるための正課授業による「キャリア教育」と、学生に自己理解・自己発見の機会と知的刺激を授けるための就職対策支援講座、各種セミナー、模擬試験（基礎学力）、インターンシップなどにより構成される「キャリアサポート」を統合して展開する体系化されたキャリア形成支援プログラムです。本取組は、学生の多様化が進む中での大学教育の質的保証を図り、学生の主体的人格形成による学士力の確保を目的に、質的拡充を図りつつ持続的、発展的な取組を行うものです。平成 26 年 4 月には、「ガイダンスルーム」を 3 号館 1 階に設置し、全ての学生の目に留まる場所で学内企業説明会・業界セミナーなど、各種説明会を実施します。就職活動対象年次の学生はもとより、低学年から就職意識を高め、よい意味で緊張感が生まれ就職活動に対するモチベーションの維持向上が期待できます。

#### **(2) エクステンションセンターによるキャリア支援**

エクステンションセンターでは、資格取得講座、就職支援・スキルアップ講座、教養講座、その他提携講座など、学生の学習ニーズにあった各種講座を企画し開講しています。平成 26 年度は年間で 25 講座 63 コースを予定しており、講座の講師には、専門学校講師や実務担当者を中心としたエキスパートを起用し、適切な受験技術や指導法により高い合格率を目指しています。受講メリットは、専門学校

より安い料金の設定のうえ講義時間数も多く、大学に通いつつ資格を取得できるばかりか、それが同時に就職活動でのアピールにもなります。本学学生にとっては、社会人と一緒に学ぶことで刺激を受け、必然的に社会マナーを肌で感じ修得する機会ともなり得ると同時に、やる気を起こさせる動機付けの効果も狙えます。

## 5. 研修事業

学校法人九州国際大学職員人事規則に基づき、教職員の能力開発及び資質の向上を目的として恒常的に研修等を実施しています。FD（ファカルティディベロップメント）・SD（スタッフディベロップメント）活動の目的は、教職員の職能開発であることはもとより、教育の質的向上にあります。これまでと同様に「学士課程教育の質的保証」「初年次教育」等を中心として、各学部・研究科において実施された研修内容を継続的に展開していきます。

また、セメスター毎に実施している授業アンケートの分析結果などを踏まえて、FD委員会・教務委員会において対策を講じ、授業運営の改善を図っていきます。

さらに、他大学の先進事例について情報を得る、研修会を実施するなどしてFD・SD活動を推進していきます。

## 6. 地域連携

### (1) 地域連携センター運営事業

「人づくり」をコンセプトとした北九州市のコムシティ再生計画に賛同し、平成25年4月に黒崎駅前コムシティにサテライト・キャンパスを設置しました。同時に、大学との地域連携を目的とした組織として「地域連携センター」を設置し、行政部局とも連携を図りながら、生涯学習の場の提供や地域研究に邁進いたします。さらに、これら活動を通じて、新たな人材育成メニューを創出することで、地域と連携した「人づくり」「街づくり」に貢献していきます。

### ① 地域研究事業

#### ● 「くろさき」地域研究会

本学研究者、他大学研究者、黒崎地域の住民・NPO・地域団体、行政自治体職員、経済界等を含めた地域連携研究会を開催します。黒崎地域の街づくりについて、経済学、経営学、社会学、行政学、地理学など多角的な分析手法や多様な視点を用いて語りあう勉強会を予定しています。

### ② 地域連携事業

#### ● 地域連携推進事業

本学の研究者の参画を希望する研究活動や、教職員・学生の参加・協力を希望する活動のテーマを地域から提案いただき、本学が有する人材と資金を活用して提案者と連携・協働し、その課題解決に向け取り組む事業です。平成26年度は5団体程度の事業採択を予定しています。

#### ● 大学コンソーシアム関門事業

関門地域の高等教育機関が相互に連携・協力し、関門地域の高等教育の充実及び発展を図るとともに、地域社会へ貢献する目的でオリジナルの講義を提供しています。本学においても、コンソーシアム事業を推進し、講義提供等を実施していきます。

### ③ 人づくり事業

#### ● 九国大コミュニティ・カレッジ

テーマ「くろさき」を考える―市民のための教養講座―

九州国際大学が培った「知」の集積を活用し、サテライト・キャンパスが立地する「黒崎」をテーマに、様々な視点で地域の特性を解き明かしていきます。これら活動を通して地域活性化の一助となることを目的としています。

#### ● “わかもの”を育む連携事業：産学官連携による地域人づくり

テーマ「“社会に生きる”を考える」―若者のための社会人基礎力講座―

連携事業「“社会に生きる”を考える」は、現代社会に生きる力を失いつつある「わかもの」に対して、社会人として生きるための幅広い知識や経験を提供し、社会人としての基礎体力を育むことを目的とします。産官学あがて「生きるための力」「社会の仕組み」「社会の一員となることの意味」「職をうるとは何か」などをテーマにした社会人基礎力講座を実施し、社会に適応し、社会に参画できる人材を育むことを課題としています。

#### ● 九国大EMBA事業：地域リーダー育成事業

テーマ「街なかリーダー育成講座」―地域リーダーとしてのマネジメント力を育む―

街づくりにかかわる意欲的な若者が黒崎地域には数多くいます。商店街店舗後継者、地域づくりNPO、地域有志者など、街づくりにかかわろうとしている若者のリーダーシップ力、マネジメント力を体系的に育成することを通して地域づくりに貢献します。

#### ● 北九州市民カレッジ事業

北九州市民カレッジは、北九州市教育委員会生涯学習総合センターが主催する事業であり、市民の様々なニーズに対応した学習機会を提供しています。本学は、高等教育機関としての人的資源や機能等を活かして高度かつ専門的な講座を企画し、「高等教育機関提携コース」に10講座程度を提供する予定です。

### (2) 地域安全パトロール

本学周辺並びに八幡東区周辺にかかる暴走行為や少年非行の抑止、ならびに各種災害の防止活動をはじめとした地域の安全・清掃活動等に貢献し、安全で安心できる「まちづくり」に寄与する目的で地域安全パトロール隊を結成しています。本学職員・学生が警察・地域防犯ボランティアと連携して定期的に防犯パトロールを実施していきます。

### (3) 前田祇園山笠行事への参画

本学が位置する地元地域では、毎年、前田祇園山笠の山笠巡行、競演会をはじめとする祭事がとりおこなわれています。前田祇園山笠の山笠行事は、600年以上の歴史を有し、遠賀川流域圏で古くから展開されてきたと考えられ、北九州市無形民俗文化財に指定されています。本学は、地域に開かれた大学として、教職員および学生が主体となってこれら行事へ参画し、地元地域との交流を深めながら地域貢献していきます。

#### (4) 皿倉山にぎわいづくり推進協議会への参画

産学官民で組織される皿倉山にぎわいづくり推進協議会に参画し、地域の諸問題解決のため、大学として学生を中心に地域との連携を強化する活動を実施いたします。地元住民参加による検討会を通して、学生の企画力・運営力を養成できる実践の機会として捉え、シンポジウムの実施や検討結果の公表まで取り組んでまいります。

### 7. 国際交流

#### (1) 交換留学

国際的視野を持った人材を養成するため、アジア地域を中心とした諸大学との国際交流を推進しています。海外の諸大学（中国・韓国・台湾・インドネシア）と交流協定を締結し、専攻分野における研究交流や交換留学などを展開しています。

##### （主な国際交流事業）

- **交換留学制度** : 協定校への留学（半年または1年間）
- **認定留学制度** : アメリカ、中国、韓国、インドネシアの大学に留学（半年または1年間）
- **海外社会実習** : 主にアジアの国を訪問先とするスタディツアー
- **海外語学実習** : 長期休暇を利用した語学留学（アメリカ・オーストラリア）
- **ホスピタリティ交換留学・実習留学** : 国際関係学部「観光ビジネスコース」の留学制度

#### (2) 日韓大学連携フォーラム

平成25年11月、北九州市と下関市にある関門地域の5大学が共同で、日韓の学生同士の交流を深める仕組みとして「日韓大学連携フォーラム関門」を立ち上げました。これらの活動を通じて、関門地域の魅力を発信しながら韓国との学生交流を深め「個性ある国際化」に寄与していきます。平成26年度事業として「第1回訪韓洋上フォーラム(仮称)」を9月に予定しております。

### 8. 自己点検・評価

教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくため、その理念・目標に照らして自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を把握したうえで優れている点や改善を要する点など自己評価を行っていきます。

また、平成26年度は、学校教育法第109条第2項において義務づけられている「機関別認証評価」の受審年度でもあり、「公益財団法人日本高等教育評価機構」による評価を受審いたします。

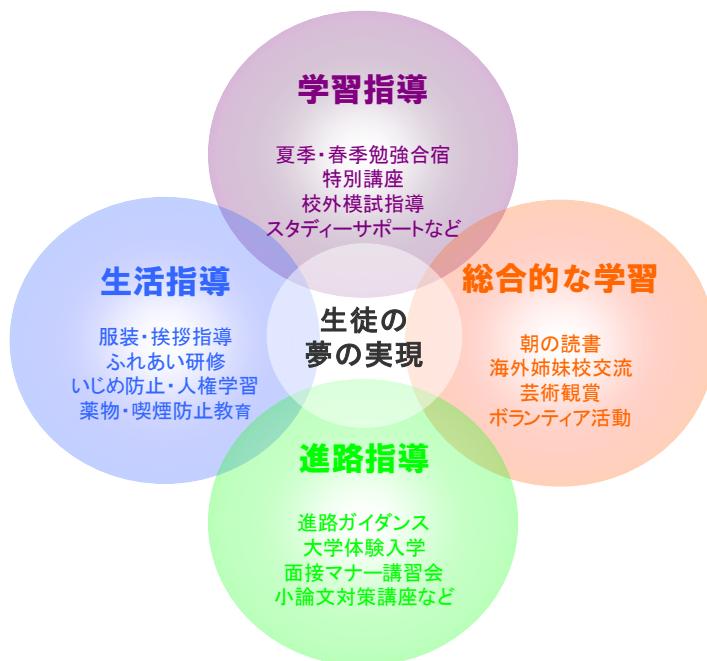


## [九州国際大学付属高等学校]

### 1. 教育概要

男女共学として生まれ変わった付属高等学校。今まで受け継がれてきた伝統と、北九州屈指の進学・スポーツ実績をもつ学校としての誇りを胸に、より質の高い教育を実現します。新生・九国付が掲げるのは、「知・徳・体」のバランスがとれた人間教育です。高校で過ごす3年間は、将来の基盤となる大事な時期です。学力向上はもちろん、心身ともに健全で社会に貢献できる人間性豊かな人材の育成に努めてまいります。

## 九国ライフデザインプログラム ～4つの側面から生徒の夢をサポート～



### 目指す学校像

- 生徒の夢と目標を実現できる進学校
- 文武両道を実現する学校
- 他を思いやる豊かな心を育む学校
- 時代をリードする国際性を育てる学校

#### 1. 社会的マナー教育

豊かな人間性を養うには、礼儀作法が不可欠です。明るく元気な挨拶、高校生らしい清潔感のある身だしなみなど、日常の学校生活を通して礼儀作法やマナーをきめ細かく指導し、社会の一員としての自覚を促します。

#### 2. 全クラス進学志向

本校では全てのクラスにおいて大学進学を目標に授業を展開しております。生徒一人ひとりの学力や個性を熟知した教師陣が放課後や長期休暇中も全力でサポート。進学意欲をかき立てる土壌が整っています。

#### 3. 現役合格へのこだわり

早期から明確な進路目標を掲げ、綿密な学習プログラムを実践。国立大学をはじめ、志望大学に進んだ卒業生の多くが、授業や各種講座など本校の指導のみで着実に学力を伸ばし、過去3年間の現役合格率93%の安定した実績をあげています。



#### 4. 「やらされる」から「自らやる」へ

向学心を養うには、強制的に「やらされる」のではなく、「自らやる」意欲を引き出すことが大切です。生徒とのコミュニケーションを大切に、親切的指導でやる気を高め、自発的に学べる環境づくりに努めています。

#### 5. 幅広い人間教育

本校の伝統でもある豊かな情操教育と道徳教育を推進。いじめや暴力がなく、安心して楽しく学べる環境を守ります。また、ボランティア活動や国際交流など、地域社会との関わりを通して幅広い視野を養います。

#### 6. 個性に合わせた進路指導

生徒一人ひとりの個性や適性を大切に、将来まで見据えた手厚い進路指導を実施。豊富なデータをもとに学級担任・教科担当・進路指導教員が連携してサポート。それぞれの希望に応じて最適な指導を実施していきます。

## 2. 教育活動の特色（クラス編成）

| クラス             | 概要                                                                                                                                  |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 難関クラス           | 少数精鋭でハイレベルな授業を実践する難関クラス。東京大学、京都大学、九州大学や、医歯薬系の難関大学への現役合格を目指し、高度かつ綿密な指導を行います。社会常識やマナーも身につけ、確かな学力と豊かな人間性を兼ね備えた人材を育成します。クラブ活動への参加も可能です。 |
| S 特クラス          | S 特進クラスは、九国付の最上位である難関クラスと常に良い競争意識をもち合っています。同じ校内に互いを高め合えるライバルがいるからこそ、緊張感をもった学習を継続することができます。S クラスと難関クラスは九国付のツートップです。                  |
| 特進クラス           | 国公立大学への進学を目標に、現役合格を目指す特進クラス。<br>2 年次からは徹底したコース別教育を取り入れ、生徒一人ひとりの能力を高める指導を実践します。毎年、国公立大学に多数の合格実績をあげる原動力になっています。                       |
| 準特進クラス          | 国公立大学や有名私立大学の受験を視野に入れた充実のカリキュラムで、やる気をしっかりサポート。生徒の意思を尊重した指導で、更なるレベルアップを促し、志望大学への現役合格を目指します。                                          |
| 進学クラス           | 有名私立大学をはじめとする大学進学を中心に、適性に応じて幅広い進路へと導く進学クラス。マナー教育やクラブ活動・ボランティア活動も積極的に推進。個性と才能を伸ばし、更なる成長を促します。                                        |
| トップアスリート<br>クラス | 推薦試験で入学する生徒を対象に 2 クラスで構成。全国的なスポーツ実績を誇るクラブ活動の充実を図ると共に、他のクラスと同様に大学進学を目指した授業を行います。スポーツと勉学の両方で頑張りたいと考える生徒たちを精一杯バックアップします。               |

## 3. 学習支援体制

### (1) 自己マネジメントプログラム「夢橋（ゆめたちばな）」

自己マネジメントプログラム「夢橋」は、先輩たちの足跡に学び、一人ひとりの夢を本気で実現させる「勝利の方程式」の一つです。1 週間単位の生活プランノートで、各々の目標にあわせて「未来の計画」を書き込みます。毎週の総合的な学習の一環として時間割に組み込まれており、クラス担任の指導のもと、前週の反省点と次週の計画を立てさせ、自主性を育てる細かな指導を実践します。

### (2) 学習・進学サポート

いち早く「目標」を明確にして学ぶ意欲をかき立てるフォロー体制を確立し、土曜日や放課後に加え長期休暇中の特別講座を実施して進学（合格）に向けての準備を万全にしています。

また、各種ガイダンスを実施して勉強方法や受験までの心構え、受験動向などを早期から指導します。

### (3) 入試対策

「小論文・面接対策」「資格取得指導」「予備校講座」「大学特別講義」等を実施することで多様化する大学入試に対応できる体制を整えています。

### (4) データに基づく進路指導

生徒の成績を個別にコンピュータで管理・分析しています。各々のデータに基づき、数値やグラフと照らしあわせながら目標に向けて具体的な進路指導を展開します。各種データや情報は生徒や保護者に提供し志望大学への指針を明確にして現役合格へと導きます。

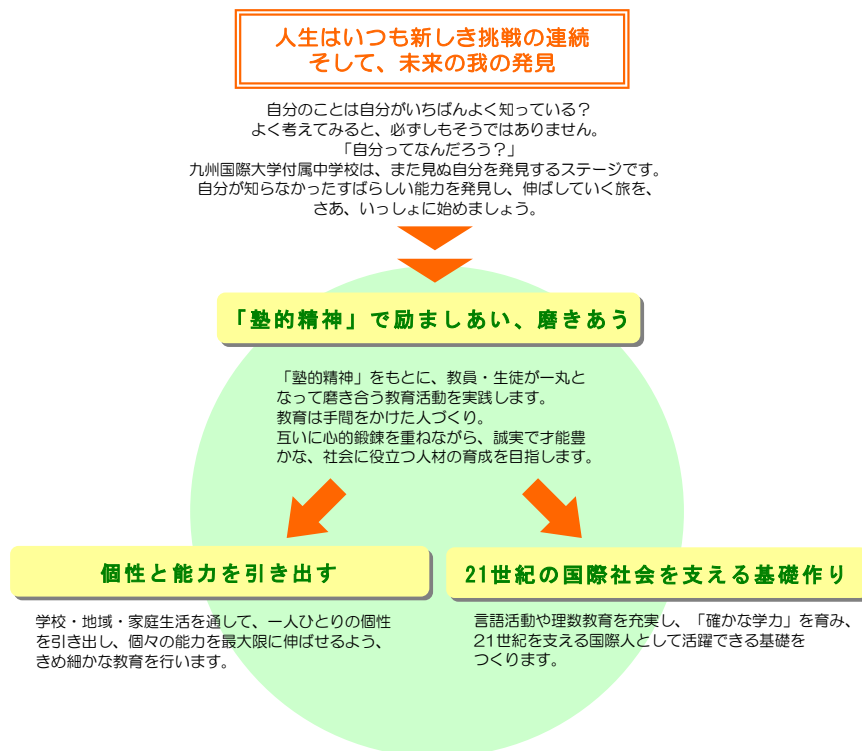
### (5) 放課後・休暇中の学習フォロー

生徒一人ひとりの学習計画を踏まえて、昼休みや放課後、夏休み、冬休みなどの学習を支援します。生徒の習熟度や個性を熟知した教員が手厚く指導し、合格へと導きます。

## [九州国際大学付属中学校]

### 1. 教育概要

中学校では、その教育目標に「知・徳・体の調和のとれた人間教育」「個性や能力に基づいた希望進路の実現」を掲げています。充実した中学校生活を過ごし、確かな知力と徳力、体力を身につけ、より高い進路の実現を目指します。



### 2. 教育活動の特色

柔らかい心と好奇心に満ちた中学時代に、本校独自の体験型学習活動を通して、高い水準の生きる力を身につけ、友情を育み、多くの感動を味わうことができます。

#### (1) 「知」「情」「意」を刺激する体験学習

| 充実した宿泊研修                                                                                                   | 心身の鍛錬・歴史文化に触れる北九ウォーク                                                                                           | みる・きく・しらべる                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然体験教室（1年）</li> <li>■ 古都探訪教室（2年）</li> <li>■ 海外体験教室（3年）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 帆柱連山登山（1年）</li> <li>■ 足立・小文字登山（2年）</li> <li>■ 長崎街道ウォーク（3年）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 救急救命講習（1年）</li> <li>■ 環境体験教室（1・2年）</li> <li>■ 地域に学ぶ体験教室（2年）</li> <li>■ 学術体験教室（3年）</li> </ul> |

#### (2) ことばを大切にし、表現する力を身につける学習

| ことばを大切にする                                                                                                                            | 英語力を身につける                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 朝の読書（プラチナ10）</li> <li>■ ころ color 運動</li> <li>■ 学校誌『21』－勇気の風－</li> <li>■ 体験・学習発表会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 教育ソフト「すらら」を活用した英語力強化</li> <li>■ 外国人教師・大学講師による英会話授業</li> <li>■ 英語使用を意識した授業運営</li> <li>■ 英語スピーチコンテスト</li> <li>■ オーストラリア海外体験教室（3年生）</li> <li>■ 諸外国との国際交流事業</li> </ul> |

### 3. 教科目標

磐石の学習体制と豊富な体験学習を軸として、人間形成と豊かな学力、基礎体力の向上を培う教育を行います。生徒一人ひとりの個性や能力を引き出し、希望進路の実現にむけて科目目標を設定して授業運営を行っています。

| 科目        | 目標                                                                                                                                                                                    |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語        | 「言葉」に親しみ、「言葉」を身につけ、「言葉」によって豊かな知性や感性、人間性を育みます。また、文章で表現したり、論述したりすることに対して積極的な姿勢を養い、文章読解力を養成します。                                                                                          |
| 数学        | 数学を学ぶ楽しさ・社会的有用性を感じることが出来る授業を展開し、数学的な見方や考え方を育てます。また、原理や法則の理解を深めるとともに、基礎的な技能を習得するためのドリル学習を充実させます。                                                                                       |
| 社会        | 地理・歴史・公民の学習を通じて、現代社会における様々な出来事を自ら考え、分析する力・社会を構造的に理解できる力を養います。演習問題も多く取り組み、基本的な知識の定着と応用力の育成を目指します。                                                                                      |
| 理科        | 自然に対する興味を持たせ、目的意識をもって実験・観察を行い、探求的に調べる能力と態度を育てます。また、グラフ作成やレポート作成、論述などを取り入れ、科学的な思考力や処理能力、論述力を育みます。                                                                                      |
| 英語        | 英語学習を通して語学力を高めるとともに、自分の意見を相手に伝えたり、相手の考えを理解したりできるようなコミュニケーション能力を身につけます。また、異文化を理解し尊重する態度を養うとともに自国の文化を大切に継承する心を育みます。                                                                     |
| 音楽        | 幅広く音楽を演奏したり鑑賞したりすることにより、曲の構成や表現方法を感じ取る力の向上を目指します。また、音楽祭に向けた学級合唱の練習を通し、曲のイメージや各声部の役割を理解するとともに、協調の大切さを養い育てます。                                                                           |
| 美術        | 創り出す喜びを味わい、美術を愛好する心を育てるとともに豊かな感性や情操を養います。さらに、表現や鑑賞の幅広い活動を学校行事や生活全般に広げていくことを目指します。                                                                                                     |
| 保健体育      | 心と体には、密接な関係があることを学び、心身を磨き鍛えることによって、協力・共感・公平・公正・克己心・集中力など、何事も耐えうる心と体を育成します。また、健康の保持・増進を目指すとともに、生涯にわたってスポーツに親しむ資質を養います。                                                                 |
| 技術・家庭     | 技術分野では、コンピュータについて総合的な知識を身につけ、基本的な情報の処理・伝達ができるようになることを目指します。家庭分野では自立に必要な知識の習得とともに、実習を通して手作りの温かさや大切さを体感し、豊かな生活を営むことのできる実践的な力を養います。                                                      |
| 道徳        | 道徳の時間や教科、特別活動などの全ての教育活動を通して、人間としてよりよく生きることの実現を目指します。生徒と共に考え探求しながら、道徳的価値に基づく人間としての生き方、豊かな心、道徳的実践力などを育てます。                                                                              |
| 総合的な学習の時間 | 総合的な学習の時間では、さまざまな体験学習をより一層効果的なものにするために、事前の調べ学習やレポート作成などに取組みます。さらに、1・2年では、体験・学習発表の準備を行い、3年では、校長面接のための自己分析・エントリーシート作成などの時間にも使います。机の上の学習だけでは得られない体験を通して、創造力・思考力・発表力を育みながら「未見の我」の発見に努めます。 |

### 4. 学習支援体制

#### (1) 授業時間の確保

英語・国語・数学をはじめ5教科の授業時間を、学習指導要領の定める標準時間と比べ大幅に増やしています。深く学ぶことを大切に、一人ひとりの希望進路の実現に向けて礎をつくります。

#### (2) 速習クラスの導入

英語と数学では、1年生から少人数授業を実施しています。私立難関校や公立トップ校への進学を目指し、学力を身につけられるようなクラス編成にしています。

#### (3) 三学期・ぐんぐん演習

「伸びるところまでぐんぐん伸ばそう！」をスローガンに、1・2年の三学期は総仕上げの問題対策も兼ねて、1年間の総演習を行っています。

#### (4) 資格検定

すべての生徒が、漢字検定・英語検定・数学検定で3級合格を目指します。教科が主体となって対策を立てて学校全体で取り組んでいます。

#### (5) 個別指導

生徒のチャレンジ精神を応援するため、放課後に個別指導の時間を設けています。

- **再テスト指導**

各教科担当が授業で実施した小テストの再テスト指導を行い、苦手克服のチャンスを提供しています。

- **チャレンジルーム**

日々の学習に不安を感じている生徒の手助けをする場として、「チャレンジルーム」を開設しています。個別に学習の状況を見て適切な援助をしていきます。

#### (6) K点突破学習会（K T G）・K点突破ノート（K T N）

3年生は、春夏に九州国際大学で学習会を行います。2学期には月に一度の学習会（K T G）も行っています。段階的に目標を設定し、それをクリアしていく過程で、「自学力」を鍛えます。また、家庭学習の定着を図るために、K点突破ノートというものにも取り組んでいます。一日にノート3ページ分の学習を課し、K T Nと呼んでいます。

#### (7) 課外授業

夏休みは授業の復習や入試の演習などを含めた課外授業を実施しています。また、冬休みには、成績が振るわなかった生徒を対象にした補講も開講しています。

#### (8) 家庭学習の定着

国語は漢字、数学は計算、英語は単語を、3教科ともすべてそれぞれノートに1ページずつ毎日書き、家庭学習の習慣化を図ります。



発行 / 学校法人 九州国際大学 法人事務局  
〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目 5-1  
TEL : 093-671-8900 / FAX : 093-671-9032